

# 遊戯場の價值

樂 天 子

訓練といふ方面より遊戯場を論ずれば、教場より遊戯場の方がこの訓練の効果をあげるには大なる價值あるものである。近來遊戯の聲大に高くなり何れの地方に於ても遊戯の研究をなすやうになつた。けれども其の多くは單に体育的のみの研究に偏しこの訓練といふ大切なる方面の研究をなすものは少ない。彼の今日續々出版せらるゝ遊戯書にして其の一二のものを除きては、深く訓練的事を書き加へたものはない、併しこれにては其の遊戯は單に体育的のものにて僅に半分の價值あるのみである、思ふに遊戯なるものは性來兒童の最も好みて行ふものにしてしかも規律的のものであつて、この間師弟の愛情を生ずるとか、兒童の個性を知るとか、規律に喜服せしむるとか、いふ良習慣を養ひ能ふ事はすでに識者の熟知せる事である、その教授時間に於ける一定の遊戯がかかる効果あ

るものとすれば、彼の休憩時間に於て兒童が各自随意に行ふ遊戯は、寧ろ夫以上の効果を表はすものである。何となれば兒童の個性につきての研究はこの間に於て殊に都合よきものにて、或は意地悪きもの、親切なるもの、大膽なるもの、教師に阿諛するもの等、遊戯場に至りて觀察すれば教場等にて全く知ることを得ざる事實のよく判明するものである。従つて之を矯正せんとするにも教場に於けるよりも大に都合よろしく著しき効果があるのである、尋常初學年又は幼稚園などにて、入學當時一度も口を聞きたることなき兒童を、遊戯場にて手を換へ品を換へて遂に口を聞かしむる様になし、少しも書きたることも話したることなき兒童を近頃は級中にて中等以上のものとなしたることも又、級中にて黨派をなし時々衝突を起したるを遂に遊戯場にて打破したる事も、實際経験せることである、併しこれらは教場にて如何に訓戒するも容易に出来るものでない、遊戯場にては一言之訓戒的言語を發せざるも、少しく注意すれば之等の効果は直ちに表はれ來るのである、又兒



童の悪しきことを見付けて小言をいふ事が今日普通の事なれども、少しく教育的の眼光にて見ればその大に不都合なるを發見するのである、適當の遊びなくしかも之を監督するものなしとすれば、兒童はさておき大人と雖も随分悪しき行をなし兼まじき事である。彼の益軒先生は禮は未然を防ぎ法は既然を戒しむと言はれた、幼児教育は固より禮義によりて成立するものにて、法律的の罰は決して必要なるものでない、病起りて藥を服するは已に遅く、病なき時によく養生して病の起らざる様に注意することが大切である、故に幼児教育は殊に悪しき行をなしたるものを訓戒するより、悪しき行をなすものなきを望まねばならぬ、而して斯くなさんとするには、遊戯場の研究と監督こそ大切なるのである、余は幼稚なる兒童の訓練は遊戯場に於て大體の目的は達し得らるゝことゝ考ふるものである。

次に体育の方面より遊戯場を論ぜんに、之は誰も知る所にして今吾人の述ぶる必要もなき程なり、故に余は只左の一事を述べん、能く勉めよく遊ぶ

といひて古より勉むと遊ぶとは、同格にありながら、世人は勉むる方はよく研究するもの多けれども、遊ぶ方の研究甚だ少なし、然るに今少しく研究的に考ふるに彼の學校にある劣等なる兒童につきて觀察せば必ず身体に異状あるもの多からん、身体健全にして快活なる兒童は、多くは成績よきものなり、之に依て見るも如何に遊ぶことの大切なるか、如何に遊戯場に於ける注意の大切なるか明かに知る所ならん、非常に弱き子供にて成績も悪しく常に運動を嫌ふも、漸々手を取りて運動好きとなし、身体を健全となし成績をよくしたることは、嘗て實驗せることである、此等の事によりて觀るも、余は小學校にてはよく遊ぶといふ事を基礎としたいと思ふ程である、即ち遊戯場の研究に大に力を盡したく思ふのである。かく訓練の方面よりも、体育の方面より大切なる遊戯場とすれば、教師は常に如何なることに注意すべきか、余は左の三ヶ條を以て其重なるものと考ふるのである。

第一愛情、愛情なければ教師の資格なく、愛情な

き教師は如何なる方面に向つても生徒の心服を受くる事が出来ぬ、該博なる智識も熟練なる教授法も此の愛情なる連鎖によりて、生徒に結び付けらるゝのである、而してその愛情は遊戯場に於て最も表はれ易く又最も大切なるものである、教場に於て常に嚴格の態度を取り居るも、遊戯場に於て生徒と互に手を取り運動するに至らば、彼等は教場の嚴格を恐れざるのみならず、却て之を喜ぶに至るものである、従つて此の間に於てこそ師弟の情誼も起り、教場の教授のみにては到底この真情は得られぬものである、兒童が教師を恐れて、「こわい先生」といふ考を持つ以上は、教育の効果も先づ半分以上は達せられたのである、併しこの愛情が所謂姑息の愛とならぬ様に注意することが大切である。

第二規律、餘りに愛情深きものは動もすれば兒童を我儘になすむと云ふことがある、故に規律は是非共正しくせなければならぬ、遊戯場にも彼の無邪氣なる兒童の可愛き儘に、常には赦すべからざる行もつうか／＼と見逃すことがある、又兒童

も遊戯場には犯し易い併し之には眞の愛情ではない、如何なる場合にも一度悪しき事なりといひし事は決して赦してはならぬ、又己れの主義としたる事は決して其方針を換へてはならぬ、斯くてこそ訓練の實益をあげ得るので姑息の愛にては却て彼の人の子を賊ふに至るのである。

第三快瀾、規律が大切なりとて夫を餘り窮屈に考へたならば、又因循となりて充分の活動をなさぬ様になる、運動場にては教師も生徒も快瀾の精神の充滿して初めて其目的を達し得るものである、快瀾ならざれば興味薄く興味薄き運動は効果少なきものなることは既に何人も知る所である、只教師が快瀾に運動すれば、生徒は従つて快瀾に愉快に運動するは明かなる事實である、併し如何に快瀾が必要なりとて粗暴とならぬ様に注意せねばならぬ、是又規律の必要なる所以である。

以上述べたる三つの條件は決して獨立のものでなく、互に相関連して其効果を生ずるものであれば教師は常に其注意を要することは勿論である、併し今日の學校にては何れも手不足にて教場の教

授や事務の整頓にさへ間に合はぬ程で地方の學校等にては到底望むべからざる事といふならん、然れども余が以上述べたる遊戯上の價值より言へば其教場の教授力の發分を割愛しても遊戯上に其力を用ひたく思ふのである、一定の見識を有する教師とすれば單に教授法の形式や、余り必要もなき規則や、帳簿の末にのみ走ることなく小學校令の明示することく、兒童身体の發達に留意して道徳教育及國民教育の基礎を作ることには注意せねばならぬ、又訓練の行届きたる上にて教授法も價值を表はすものである、而して斯ることの多くは遊戯場にて成効することが多く、成効せしむるに便利なることは以上述べた通りである、讀者諸氏は之に依て遊戯場の價值と其の監督上に於ける注意の必要なることを了解せしならん、之れ皆余の遊戯場の眞價を社會に發表せんとする熱情に出でたるものである、幸に諒恕せられ諸士の賛同を得て大に之が眞價を表はされんことを。

## 惣菜料理

石井泰次郎

### 椀 常盤豆腐

豆腐を、一寸厚さ二寸角くらゐに、切り、成るべくこまかに、下まで切り通さずに、横にも堅にも切目を入れる事、菊豆腐の如くなして、くづさぬやう取りあつかひて薄き葛ゆにて湯煮す、

葛粉と水とを鍋に入れ、火にかけ、葛のかへる迄箸にてかきまわし居るべし、火にかけて其まゝ置きては、葛粉下に沈みてこげつくなり、注意してかきまわし居るべし、さて葛粉の煮えたらば、切りたる豆腐を入れ湯煮するなり、あまり煮すぎぬやう、あたゝまりたらばよろしきなり、

又一方には白味噌を摺りてうらごしなし、なべに入れ砂糖、みりん酒、少しの水等を加へ、火にかけて煉る、程よく煉れし時、

獨姑をあらひ皮をむき去りて、卸し金にてすりおろし味噌の中へ入れて交ぜ合し、ほうれん草より